



Better Health, Brighter Future

会社名 武田薬品工業株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー

(コード番号 4502 東証プライム市場)

報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ

齊藤 潤 03-3278-2325

E-mail: jun.saito@takeda.com

News Release

2022年12月21日

武田薬品の湘南ヘルスイノベーションパーク運営事業の承継のための 会社分割(簡易吸収分割)および株式譲渡について

武田薬品工業株式会社(本社:大阪府中央区、以下、「武田薬品」)は、本日、新たに iPi 設立準備株式会社(以下、「対象会社」)を設立し、2023年4月1日付で、武田薬品の湘南ヘルスイノベーションパーク(以下、「湘南アイパーク」)に係る運営事業(以下、「湘南アイパーク運営事業」)を対象会社へ吸収分割により承継(以下、「本会社分割」)させるとともに、2023年4月1日付で、武田薬品が保有する対象会社の発行済株式の一部を産業ファンド投資法人および三菱商事株式会社へ譲渡すること(以下、「本株式譲渡」、本会社分割とあわせて、以下、「本件取引」)を決定しましたのでお知らせします。

本株式譲渡にかかる譲渡額は、5.14億円です。湘南アイパークにおける武田薬品の研究開発活動は継続されます。

本会社分割は、武田薬品の連結子会社に一部の事業を承継させる会社分割であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

記

1. 本件取引の目的・理由

湘南アイパークは、2018年4月に、武田薬品が当時の自社研究所(「湘南研究所」)を外部に開放する形で、日本初の製薬企業発サイエンスパークとして誕生しました。2020年に、湘南アイパークの資産(土地および施設)が信託設定され、2020年、2021年に産業ファンド投資法人によって信託受益権が取得されましたが、運営は引き続き武田薬品が業務委託を受けて、担ってきました。

開所以来、「世界に開かれたライフサイエンスエコシステムの構築」をミッションとし、「革新的なアイデアを社会実装する」というビジョンのもと、施設運営およびオープンイノベーション促進事業を行ってきており、開所時は20社だった入居企業・団体も150を超え、製薬企業のほか、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタルなどの企業や大学、行政などが集結しています。

湘南アイパークは、本件取引を通じて、より中立的かつ求心的なイノベティブな場の構築を加速させることで、より多くの企業に参画いただくこと、そしてそれぞれの事業のさらなる発展を支援していくことで、持続的な成長と収益性の向上を図ることが出来るとの判断により、今回の決定に至りました。

2. 本件取引の要旨

(1) 本件取引の日程

取締役会から委任を受けた取締役による本会社分割決定日	2022年12月21日
本株式譲渡に関する契約締結日	2022年12月21日
吸収分割契約締結日	2022年12月21日
吸収分割効力発生日	2023年4月1日(予定)
株式譲渡効力発生日	2023年4月1日(予定)

(注) 本会社分割は、会社法第784条第2項の規定により、同法783条第1項に定める武田薬品の株主総会の承認を得ないで分割を行うものです。

(2) 会社分割の方式

武田薬品を分割会社とし、対象会社を承継会社とする吸収分割です。

(3) 会社分割にかかる割当ての内容

対象会社は、本会社分割に際し、承継する権利義務の対価として、普通株式90,000株を発行し武田薬品に対して割当てます。

(4) 会社分割に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

武田薬品は新株予約権を発行していますが、本会社分割によるその取扱いに変更はありません。

(5) 会社分割により増減する資本金

本会社分割による武田薬品の資本金の増減はありません。

(6) 対象会社が承継する権利義務

対象会社は、武田薬品との間の吸収分割契約に基づき、武田薬品が保有する湘南アイパーク運営事業に関する権利義務の全部を承継します。

なお、本会社分割に基づく武田薬品から対象会社に対する債務その他の義務の承継は、全て免責的債務引受の方法によるものとします。

(7) 債務履行の見込み

本会社分割において、効力発生日以降に対象会社が負担すべき債務については、その履行の見込みに関心はないと判断しておりますが、分割会社が債務履行を保証するものではありません。

3. 会社分割の当事会社の概要

	分割会社 (2022年3月31日現在)
名称	武田薬品工業株式会社
所在地	大阪府大阪府中央区道修町四丁目1番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー
事業内容	医薬品等の研究開発・製造・販売等
資本金	1,676,263百万円
設立年月日	1925年1月12日
発行済株式数	1,582,252,525株
決算期	3月31日

大株主および持株比率	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15.91%
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5.12%
	THE BANK OF NEW YORK MELLON AS DEPOSITARY	3.71%
	BANK FOR DEPOSITARY RECEIPT HOLDERS	
	日本生命保険相互会社	2.04%
	STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	1.83%
	JP モルガン証券株式会社	1.55%
	JP MORGAN CHASE BANK 385781	1.27%
	公益財団法人武田科学振興財団	1.15%
	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1.09%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	1.03%	

直前連結会計年度(2022年3月期)の財政状態および経営成績(連結・国際会計基準)
(単位:百万円。特記を除く)

親会社の所有者に帰属する持分	5,683,019
資産合計	13,178,018
1株当たり親会社所有者帰属持分	3,665.61円
売上収益	3,569,006
営業利益	460,844
税引前当期利益	302,571
親会社の所有者に帰属する当期利益	230,059
基本的1株当たり当期利益	147.14円

	対象会社 (2022年12月21日現在)
名称	iPi 設立準備株式会社
所在地	神奈川県藤沢市
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 藤本利夫
事業内容	湘南アイパーク運営事業
資本金	1,000万円
設立年月日	2022年12月16日(予定)
発行済株式数	普通株式 10,000株
決算期	3月31日
大株主および持株比率	武田薬品 100%

4. 分割する事業の概要

(1) 分割する事業の内容

武田薬品が営む湘南アイパーク運営事業

(2) 分割する事業の経営成績

収益事業は行っておりません。

(3) 分割する資産、負債の項目および金額

資産		負債	
項目	金額	項目	金額
流動資産	147 百万円	流動負債	45 百万円
固定資産	726 百万円	固定負債	92 百万円
合計	873 百万円	合計	137 百万円

(注) 分割する資産及び負債の項目及び金額については、2023 年 4 月 1 日時点の見込み額であり、実際に分割する資産及び負債の金額は、上記から変動する可能性があります。

5. 会社分割後の当事会社の状況

(1) 本会社分割後、分割会社である武田薬品の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金および決算期に変更はありません。

(2) 本会社分割により、対象会社の資本金は 1 億円に増資されます。

6. 本株式譲渡について

(1) 異動する子会社(対象会社)の概要

上記 3.の対象会社にかかる記載をご参照ください。

(2) 本株式譲渡の相手先の概要

	産業ファンド投資法人 (2022 年 7 月 31 日現在)	三菱商事株式会社 (2022 年 3 月 31 日現在)
名称	産業ファンド投資法人	三菱商事株式会社
所在地	東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング	東京都千代田区丸の内二丁目3番1号
代表者の役職・氏名	執行役員 本多邦美	代表取締役 社長 中西勝也
事業内容	その資産を主として投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号。その後の改正を含む。)第2条第1項に定める特定資産に対する投資として運用すること	エネルギー・金属・機械・化学品・食料・消費財・インフラ・不動産など広範な分野において、本会社又は本会社が株式若しくは持分を所有する他の会社を通じ、商品・資源の売買、生産、製造、開発のほか、金融・物流事業、新規事業開発、各種サービスの提供など、多角的な事業を行う
資本金	183,865,203,829 円	204,446,667,326 円
設立年月日	2007 年 3 月 26 日	1950 年 4 月 1 日
発行済投資口数又は発行済株式数	2,070,016 口	1,485,723,351 株
決算期	1 月 31 日および 7 月 31 日	3 月 31 日
主な投資主および所有比率又は大株主および持株比率	株式会社日本カストディ銀行 20.90% (信託口) 日本マスタートラスト信託銀行 16.66% 株式会社(信託口)	日本マスタートラスト信託銀行 16.98% 株式会社(信託口) 株式会社日本カストディ銀行 6.20% (信託口)

野村信託銀行株式会社 (投信口)	4.40%	EUROCLEAR BANK S.A./N.V. (常任代理人 株式 会社三菱 UFJ 銀行)	5.23%
みずほ証券株式会社	1.47%	明治安田生命保険相互会社	3.94%
SSBTC CLIENT OMNI BUS ACCOUNT (常任代 理人 香港上海銀行 東京支 店)	1.43%	東京海上日動火災保険株式 会社	3.44%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TRE ATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行 決済 営業部)	1.35%	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(三菱重工業株式会 社口・退職給付信託口)	2.18%
SMBC日興証券株式会社	1.32%	JP モルガン証券株式会社	1.63%
THE CHASE MANHAT TAN BANK, N. A. L ONDON SPECIAL AC COUNT NO. 1 (常任代理 人 株式会社みずほ銀行 決 済営業部)	1.28%	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人 株式会 社みずほ銀行決済営業部)	1.51%
JP MORGAN CHASE BANK 385781 (常任代理 人 株式会社みずほ銀行 決 済営業部)	1.20%	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(退職給付信託口・ 三菱電機株式会社口)	1.20%
株式会社日本カストディ銀行 (金銭信託課税口)	1.15%	三菱重工業株式会社	1.12%

直前会計年度の財政状態および経営成績(単位:百万円。特記を除く)

	2022年7月期 (単体・日本会計基準) (単位:百万円。特記を除く)	2022年3月期 (連結・国際会計基準) (単位:百万円。特記を除く)
純資産/親会社の所有者に帰属する持分	189,358	6,880,232
総資産/資産合計	417,430	21,912,012
1株当たり純資産/1株当たり親会社所有者 帰属持分	91,476 円	4,659.68 円
営業収益/売上収益	17,194	17,264,828
営業利益	7,462	-
税引前当期純利益/税引前当期利益	6,494	1,293,116
当期純利益/親会社の所有者に帰属する 当期利益	6,492	937,529
1株当たり当期純利益/基本的1株当たり 当期利益	3,136 円	635.06 円

武田薬品と本株式譲渡の相手先との関係

資本関係	武田薬品と産業ファンド法人との間には、 記載すべき資本関係はありません。また、 武田薬品の関係者及び関係会社と産業フ	武田薬品と三菱商事株式会社との間には、 記載すべき資本関係はありません。
------	--	---

	ファンド投資法人の関係者及び関係会社の間には、記載すべき資本関係はありません。	
人的関係	武田薬品と産業ファンド投資法人との間には、記載すべき人的関係はありません。	武田薬品と三菱商事株式会社との間には、記載すべき人的関係はありません。
取引関係	武田薬品と産業ファンド投資法人の間には、記載すべき取引関係はありません。	武田薬品と三菱商事株式会社との間には、記載すべき取引関係はありません。
関連当事者への該当状況	産業ファンド投資法人は、武田薬品の関連当事者には該当しません。また、産業ファンド投資法人の関係者及び関係会社は、武田薬品の関連当事者には該当しません。	三菱商事株式会社は、武田薬品の関連当事者には該当しません。

(3) 譲渡株式数および譲渡金額

譲渡金額	5.14 億円
譲渡株式数	60,500 株 うち 産業ファンド投資法人 41,000 株 三菱商事株式会社 19,500 株

(4) 譲渡前後の所有株式の状況

譲渡前の所有株式数	97,000 株
譲渡株式数	60,500 株
譲渡後の所有株式数	36,500 株(所有割合:36.5%)

(5) その他

本株式譲渡に先立ち、武田薬品以外にも以下の個人が対象会社株式を保有する予定です。

氏名	藤本利夫
住所	兵庫県宝塚市
武田薬品との関係	武田薬品の湘南アイパークのジェネラルマネージャーであり、対象会社の代表取締役社長を兼務
保有予定株式数	3,000 株

7. 今後の見通し

本件取引の実行による、武田薬品の当期および来期の連結業績への影響は軽微です。

以上

※本プレスリリースは各社より重複して配信される場合がございます。何卒ご了承ください。

Press Release

2022年 12月 21日

報道関係者各位

湘南ヘルスイノベーションパーク
武田薬品工業株式会社
産業ファンド投資法人
三菱商事株式会社

湘南アイパークの運営体制変更のお知らせ

—エコシステムの規模の拡大と持続的成長を目指して、新たな運営体制へ—

- 2023年4月1日、IIF、武田薬品、三菱商事との共同運営による新会社が湘南アイパーク運営事業を承継
- 開所当時からのビジョンおよびミッションを礎に、世界に開かれたライフサイエンスエコシステムの構築を加速
- 武田薬品は、今後も湘南アイパークを重要な研究開発拠点のひとつとして位置づけ、イノベーションの創出に注力

武田薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、以下「武田薬品」）は、日本におけるさらなるイノベーション創出に注力するために、また湘南ヘルスイノベーションパーク（所在地：神奈川県藤沢市、以下「湘南アイパーク」）のさらなる発展を実現するために、2023年4月1日、武田薬品が新たに設立する会社に湘南アイパーク運営事業を承継させることを決定しました。また、産業ファンド投資法人（本社：東京都千代田区、以下「IIF」）ならびに三菱商事株式会社（本店：東京都千代田区、以下「三菱商事」）は、開所当時からのビジョンとミッションのもと、湘南アイパークおよび周辺エリアのエコシステムをさらに多面的に発展させていくために、新会社の株式の一部を取得し、武田薬品とともに湘南アイパークを共同運営していくことに合意しました。

湘南アイパークは、2018年4月に、武田薬品が当時の自社研究所（「湘南研究所」）を外部に開放する形で、日本初の製薬企業発サイエンスパークとして誕生しました。2020年に、湘南アイパークの資産（土地および施設）が信託設定され、2020年、2021年にIIFによって信託受益権が取得されましたが、運営は引き続き武田薬品が業務委託を受けて、担ってきました。

湘南アイパークは開所以来、「世界に開かれたライフサイエンスエコシステムの構築」をミッションとし、「革新的なアイデアを社会実装する」というビジョンのもと、施設運営およびオープンイノベーション促進事業を行ってきています。開所時は20社だった入居企業・団体も150を超え、製薬企業のほか、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタルなどの企業や大学、行政などが集結しています。

このライフサイエンスエコシステムを今後さらに発展させていくことを目指して、湘南アイパークは、上記の新たな運営体制に移行することを決定しました。

湘南アイパークジェネラルマネジャーの藤本利夫は、「湘南アイパークは 2018 年 4 月の開所以来、最大の入居企業である武田薬品をはじめ、大学、スタートアップ、企業、自治体、病院など湘南アイパークに集う多くの方々に支えられ順調に発展してきました。そしてこうした方々が自由に共創しながらイノベーション創出に挑戦できる、中立的かつ求心的な場の構築を目指してきました。このたび、武田薬品、IIF ならびに三菱商事による共同運営体制へと転換することで、施設運営、コミュニティ形成、ベンチャー支援、地域との連携など、あらゆる事業をさらに発展させていくことができると確信しています。これまで築いてきた湘南アイパークの礎と勢いをそのままに、さらに世界に開かれたライフサイエンスエコシステムの構築を目指していきます」と語っています。

湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク）について

湘南アイパークは、2018 年 4 月に設立された日本初の製薬企業発サイエンスパークです。幅広い業種や規模の産官学が結集し、ヘルスイノベーションを加速する場となることを目指しています。製薬企業のみならず、次世代医療、AI、ベンチャーキャピタル、行政など約 150 社、2000 人以上（2022 年 12 月現在）の企業・団体がエコシステムを形成しています。

<https://www.shonan-health-innovation-park.com/>

湘南アイパーク最新の入居/メンバー企業・団体はこちら

湘南アイパーク公式 SNS > [YouTube](#) / [Facebook](#) / [Twitter](#) / [LinkedIn](#)

武田薬品工業株式会社について

武田薬品工業株式会社（TSE：4502/NYSE:TAK）は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー（価値観）を根幹とする、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。武田薬品は、「すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために」という約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続ける未来を目指します。研究開発においては、オンコロジー（がん）、希少遺伝子疾患および血液疾患、ニューロサイエンス（神経精神疾患）、消化器系疾患の 4 つの疾患領域に重点的に取り組むとともに、血漿分画製剤とワクチンにも注力しています。武田薬品は、研究開発能力の強化ならびにパートナーシップを推し進め、強固かつ多様なモダリティ（治療手段）のパイプラインを構築することにより、革新的な医薬品を開発し、人々の人生を豊かにする新たな治療選択肢をお届けします。武田薬品は、約 80 の国と地域で、医療関係者の皆さんとともに、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。

詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

IIF について

産業ファンド投資法人（IIF）は、日本で唯一の産業用不動産 REIT（リート）として、2007 年 10 月に東京証券取引所に上場（証券コード 3249）いたしました。

IIF はあらゆる産業活動の基盤となり、中長期にわたり、安定的な利用が見込まれる、物流施設及び工場・研究開発施設等並びにインフラ施設に投資し、収益の安定的な確保と運用資産の着実な成長を図ることにより、投資主価値の継続的な拡大を目指していきます。

IIF は、株式会社 K J R マネジメントと資産運用委託契約を締結し、本投資法人の規約および投資方針に基づいた資産運用業務を委託しています。

三菱商事株式会社について

三菱商事は、世界約 90 の国・地域に広がる拠点と約 1700 の連結事業会社と共同しながら、ビジネスを展開しております。天然ガス、総合素材、石油・化学ソリューション、金属資源、産業インフラ、自動車・モビリティ、食品産業、コンシューマー産業、電力ソリューション、複合都市開発の 10 グループ体制で、幅広い産業を事業領域とし、未来を見据えた重要課題への取組みとして、デジタル化や低・脱炭素社会に対応した DX（デジタルトランスフォーメーション）と EX（エネルギートランスフォーメーション）を一体で推進してまいります。

本件に関するお問い合わせ先：

湘南ヘルスイノベーションパーク 担当：白山、日比野

Mail：smb.iParkcommunication@takeda.com

広報窓口：株式会社コスモ・ピーアール内

Mail：ipark@cosmopr.co.jp

武田薬品工業株式会社

担当：グローバル コーポレート アフェアーズ 小笠原 明子

TEL：03-3278-2314

Mail：akiko.ogasawara@takeda.com

産業ファンド投資法人

担当：株式会社 KJR マネジメント（産業ファンド投資法人 資産運用会社）
インダストリアル本部

Mail：iif-3249.ir@kjrm.co.jp

三菱商事株式会社

担当：広報部

TEL：03-3210-2171